様式1

											教育委員会事務局				
ル・ュー項目			インターネット出願システムの開発							所管課	高校教育課				
(-	事業	名)		(学力検査実施事業)						担当班	教育指導班(教育課程担当)				
									;	連絡先	078-362-9444				
開	開始年度		新規	新規 終了年				関連計画等							
事_	業	区分	、□ 国補助事業 ☑ 県単		県単独事	独事業									
実	施	方 法	☑ 直執行		委 託	□補	助	□ そ	の他()	実施主体等	兵师	庫県		
	業	≣的	学校教育法施行規則第90条に基づき、公立高等学校入学者選抜の学力検査を実施する。												
事業概要				(1)願書の印刷 (2)学力検査問題の作成、印刷、保管、配布等 (3)学力検査の実施											
	れま 女善り	での 犬況	平成27年度 ・出願方法の拡充:持参のみ→持参又は郵送 ・入学考査料の納付方法:現金→収入証紙												
					・願書等配	R布 ⑪受検票配	付	中学校	②募集要項	・願書等配布	ī ⑪受検票配付	高校等			
業	務フ	п—	本願者 ④収入証紙購入 ⑤願書等提出 ⑦願書等確認 ⑤願書記入						⑧願書等提	出	● □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	願書等	印刷		
			区分			2年度決算	額	3 年度	度決算額	4 年度	当初予算額	5年度当	初予算	算額	
	事第	業費①					額 2 千円		度決算額 19,832 千円		当初予算額 19,563 千円		á初予 0, 098		
	——														
	事業	経													
	事弟	経費	報酬・賃金												
	事第	経費内	報酬・賃金 委託料												
	事第	経費内	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金			28, 37	2 千円		19,832 千円		19,563 千円	20	0, 098	千円	
事業	事第	経費内訳	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他			28, 37						20		千円	
業に	事業	経費内訳 (財	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫)			28, 37	2 千円		19,832 千円		19,563 千円	20	0, 098	千円	
業に要	事業	経費内訳 (財源	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫)			28, 37	2 千円		19,832 千円		19,563 千円	20	0, 098	千円	
業に要する	事禁	経費内訳 (財	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫) (特定)			28, 37	2 千円		19,832 千円		19,563 千円	20	0, 098	千円	
業に要	事業	経費内訳 (財源内	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫) (特定) (起債) (一般財源)			28, 37	2 千円		19,832 千円	3	19,563 千円 19,563 千円 (19,563千円)	20	0, 098	千円 3千円)	
業に要するコ	事業	経費内訳 (財源内訳)	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫) (特定) (起債) (一般財源) 予算額(2) ※精算補正前の予算を記載			28, 37	2 千円 72 千円 6 千円		19,832 千円 19,832 千円 (19,832千円) 20,616 千円		19,563 千円 19,563 千円 (19,563千円) 19,959 千円	20	0, 098 20, 098 20, 098 0, 098	千円 3 千円 3 千円)	
業に要するコス	事業	経費内訳 (財源内訳)	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫) (特定) (起債) (一般財源) 予算額(2)			28, 37	2 千円 72 千円 72千円) 6 千円 95.2%		19,832 千円 19,832 千円 (19,832千円) 20,616 千円 96.29	3	19,563 千円 19,563 千円 (19,563千円) 19,959 千円 98.0%	20	0, 098 20, 098 20, 098 1	千円 3 千円 千円 100.0%	
業に要するコス		経費内訳 (財源内訳)	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫) (特定) (起債) (一般財源) 予算額② ※精算補正前の予算を記載 執行率((①/②)×100		従事	28, 37 28, 37 (28, 37 29, 81	2 千円 72 千円 72千円) 6 千円 95.2% 32.6人	(従事人員	19,832 千円 19,832 千円 (19,832千円) 20,616 千円 96,29 32,6人	1	19,563 千円 19,563 千円 (19,563千円) 19,959 千円 98.0% 32.6人	20 (2 (2 (2 (0, 098 20, 098 20, 098 1	千円 3 千円 3千円) 4 7 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	
業に要するコス		経費内訳 (財源内訳)	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫) (特定) (起債) (一般財源) 予算額(2) ※精算補正前の予算を記載		從事	28, 37 28, 37 (28, 37 29, 81 至人員 270, 48	2 千円 72 千円 72千円) 6 千円 95. 2% 32. 6人 2 千円	従事人員	19,832 千円 19,832 千円 (19,832千円) 20,616 千円 96.29	1	19,563 千円 19,563 千円 (19,563千円) 19,959 千円 98.0%	20 (2 (2 (2 (0, 098 20, 098 20, 098 1	千円 3 千円 3千円) 4 7 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	
業に要するコス		経費内訳 (財源内訳) 費	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫) (特定) (起債) (一般財源) 予算額② ※精算補正前の予算を記載 執行率((①/②)×100		(従事	28, 37 28, 37 (28, 37 29, 81 至人員 270, 48	2 千円 72 千円 72千円) 6 千円 95.2% 32.6人	従事人員	19,832 千円 19,832 千円 (19,832千円) 20,616 千円 96,29 32,6人	1 1 1 6 . 従事人員 1 2	19,563 千円 19,563 千円 (19,563千円) 19,959 千円 98.0% 32.6人	20 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2	0, 098 20, 098 20, 098 1	千円 3千円) 4円 100.0% 32.6人	
業に要するコス		経費内訳 (財源内訳) 費職	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫) (特定) (起債) (一般財源) 予算額② ※精算補正前の予算を記載 執行率((①/②)×100 (a+b+c)))	従事	28, 37 28, 37 (28, 37 29, 81 3人員 270, 48 234, 32	2 千円 72 千円 72千円) 6 千円 95. 2% 32. 6人 2 千円	従事人員	19,832 千円 19,832 千円 (19,832千円) 20,616 千円 96,29 32,6人 68,135 千円	(19, 563 千円 19, 563 千円 (19, 563千円) 19, 959 千円 98. 0% 32. 6人 80, 979 千円	20 20 従事人員 280 24	0, 098 20, 098 0, 098 1 3	千円 3 千円 (00.0% 32.6人 千円) 千円	
業に要するコス		経費内訳 (財源内訳) 費職賞	報酬・賃金 委託料 補助金・交付金 貸付金 その他 (国庫) (特定) (起債) (一般財源) 予算額② ※精算補正前の予算を記載 執行率((①/②)×100 (a+b+c)	a b	從事	28, 37 28, 37 (28, 37 29, 81 5人員 270, 48 234, 32 18, 90	2 千円 72 千円 72 千円 95. 2% 32. 6人 2 千円 29 千円	従事人員	19,832 千円 19,832 千円 (19,832千円) 20,616 千円 96,29 32,6人 68,135 千円 231,525 千円	1 1 1 1 1 6 6 7 7 7 8 7 8 8 9 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9	19,563 千円 19,563 千円 (19,563千円) 19,959 千円 98.0% 32.6人 80,979 千円 244,826 千円	20 20 (2 従事人員 280 24	0, 098 20, 098 20, 098 1 3 0, 980 44, 370	千円 3 千円 100.0% 32.6人 千円 7 千円	

	指標名	区 分	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 目標	最終目標 【年度】			
==	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	-	_	-	-	100			
評		実 績 (見 込)	-	-	_	-				
	システム利用者の満足度	(単位当たりコスト)								
		達成率(見込)								
	成果指標(アウトカム指標②)	目 標								
		実績(見込)								
		(単位当たりコスト)								
	プロセグ (マナ) ナ / 七 (本)	達成率(見込)								
価	成果指標(アウトカム指標③)	目 標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
		実績(見込) (単位当たりコスト)								
		達成率(見込)								
	活動指標(アウトプット指標①)	目標	100%	100%	100%	100%				
		実 績 (見 込)	100%	100%	100%	(100%)				
	入学考査料納付率	(単位当たりコスト)	-	_	-	-				
		達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
指	活動指標(アウトプット指標②)	目標								
		実 績 (見 込)								
		(単位当たりコスト)								
		達成率(見込)								
	活動指標(アウトプット指標③)	目標								
		実績(見込)								
		(単位当たりコスト) 達成率(見込)								
標	<i>\</i>						$\overline{}$			
	終期設定	有()			
	改善基準	<u> </u>								
	評価の視点 		評価		目標に対する	達成状況(総合	的評価)			
己	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など ○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか	入学考査料の納入には収入証紙購入が必要だが、売りさばき所(銀行等)及び販売時間(銀行等の営業時間)に制約があり、保護者・志願者にとって手間がかかる。 郵送による出願を可能とすることや、収入証紙による入学考査料の納入などの改善を図り、利便性を高めてきたが、左記の現状に鑑み、志願者の負担軽減、事務の効率化をさらに図る必要がある。 データ入力等の事務作業等、中学、高校の教職員の業務負担が大きい。								
	課題・今後の方向性 ☑ 改善 □ 他事業と統合 □ その他									
評		ここ ハンカンウナ 送っ エファー	~ #LTH	* 説明 / インターネット出願及びオンライン決済を導入することで、教職員及び志願者双方の負担軽減を図る。 						
	説明 インターネット出願及びオン	レライン決済を導入すること	で、教職員及び	『志願者双方の負	口三年派と囚る					
	説明 インターネット出願及びオン 〈出願の流れ(システム導入		で、教職員及び	[、] 志願者双方の負	11三年11966日106					
	〈出願の流れ(システム導入	後) 〉			出願書類の提出	盲	松等			
	く出願の流れ(システム導入 志願者	. 後)〉 DID登録・出願情報入力	中学校	④各:		盲	校等			
	く出願の流れ(システム導入 志願者	後) 〉	中学校			高	校等			
価	く出願の流れ(システム導入 志願者	(後) 〉 (ID登録・出願情報入力 (3)入学考査料の支払い	中学校	④各:			校等			
価	〈出願の流れ(システム導入 志願者	(後) 〉 (ID登録・出願情報入力 (3)入学考査料の支払い	中学校②出願作	④各:	出願書類の提出		校等			
意外 部委員	〈出願の流れ(システム導入 志願者	(後) 〉 DID登録・出願情報入力 の学考査料の支払い の出力 をさず100%オンライン化すった。 では、DX・カのしやすい仕組みやエラインに場合のフォロー方法やそのでは、DX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX	中学校 ②出願† ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	④各 青報の確認・承認 けコストが減った ・入、また導入コス ・討もされたい。	出願書類の提出 ⑤出願情報の確 かを見える化す	認・承認	校等			
意外 部委員	・教職員の負担軽減のためには、紙申請は残・教職員の事務負担を計測し、アウトカム指標・他自治体や大学等の先行事例も参考に、入・申請者は中学生である。入力間違いがあったシステムの協議や調整をうまくやることで、デ	(後) 〉 DID登録・出願情報入力 の学考査料の支払い の出力 をさず100%オンライン化すった。 では、DX・カのしやすい仕組みやエラインに場合のフォロー方法やそのでは、DX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX・CX	中学校 ②出願 ②出願 は勝システム によりどれだ デーチェックの検 われる。アウトフ	④各 青報の確認・承認 けコストが減った ・入、また導入コス ・討もされたい。	出願書類の提出 ⑤出願情報の確 かを見える化す	認・承認	校等			

・高校入学者選抜志願者の利便性向上と教職員の事務負担軽減を図るため、オンラインでの出願・入学考査料の決済から合格者発表までの一連の事務を一元管理するシステムの導入に向けて、令和6年度からシステム開発に着手する。・導入後にアウトカム指標の設定を検討する。